



千代田まちづくり

2004年3月発行

No.11

サポート通信

編集・発行 (財)千代田区街づくり推進公社 企画情報課

東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館2階
TEL.03-3262-0211 FAX.03-3262-0213

公社ホームページ <http://www.chiyoda-machidukuri.or.jp>

E-mail:kosha@chiyoda-machidukuri.or.jp

音楽、文化の新分野へもアプローチ

学校建て替えに参画、職人に学ぶ、顕彰碑建立…18団体に活動助成金

第6回千代田まちづくりサポート公開審査会開く



人の息遣いと温もりあふれるまちに住みたい、そんなまちづくりを、自分たちで提案しようと22団体が、2004年1月24日、千代田区一番町の「いきいきプラザ一番町」で開かれた6回目の「千代田まちづくりサポート」公開審査会(財団法人千代田区街づくり推進公社主催)に臨んだ。その結果、第6回は総額500万円を18団体に助成することに決定した。

子どもたちにいい環境づくりをしようという狙いで活動を始めて3年目になる「子どもと一緒にデザインしよう会」は、助成金を得られる最終年度に、区立富士見小学校の建て替え計画に参画することを発表して、会場の関心を引いた。

また、中小の商店が圧倒的に多い千代田区の特徴を生かして「五十通り名店会」では、そば屋、すし屋、うなぎ屋などで職人の技の1日体験を企画したり、「神田神保町本やの会」では、以前に作った地図に比べ、入れ替わりが激しく店も道も変わったことに目を向け、新たにマップ作りをして、街の魅力をアピールして来訪者を増し、まちの活性化の手伝いをしたいと意気込みを見せた。

中でも審査委員の期待を大きくさせたのは「市井人・斎藤月峯に学ぶ会」だ。同会は、名主であり文人であった斎藤月峯を広く紹介するために、残した著作の翻刻を続け、地域資料として整備するとともに、その業績を顕彰する碑を生地の神田司町に建立する。経費を賄うための募金活動を5月から開始する。

これまで音楽や文化のジャンルをテーマにした活動を目指す団体がなかったが、今回は、「千代田区民音楽協会」や「若き日の歌・校歌の旅人」が音楽によるまちづくりを全面に打ち立ててきた。また、「ちよだ絵本づくりネット」や「文化発掘隊」など、今までにない切り口のテーマを掲げている団体が助成対象に選ばれた。秋の成果発表が待たれる。



基礎調査も予備で希望や願望もあつて熱いメンバー(写真上)のレポートを聞く審査委員

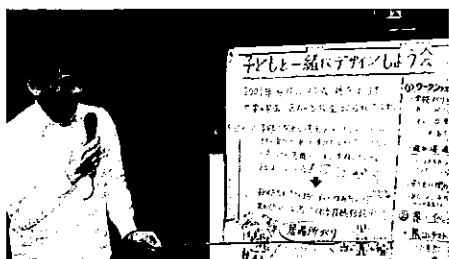
【審査委員(敬称略)】	
会長	北沢 猛 (東京大学助教授)
副会長	豊庭 伸 (NPOまちづくり情報センター かながわのリスセンター理事長)
委員	鎌倉 賢司 (東京電力株式会社 エネルギー営業部長)
	田畑 秀三 (近畿天下茶研究会神田倶楽部代表)
	山崎 範子 (地域誌編集人)
	山本 坦 (千代田区コミュニティ振興公社議員)
	渡辺 滋 (千代田区まちづくり推進部長)

目次(発表順) (カッコ内はページ)

◎子どもと一緒にデザインしよう会	(2)
◎神田市場研究会	(2)
◎五十通り名店会	(2)
◎千代田区子ども110番連絡会	(3)
◎東京を自転車で走る会	(3)
◎神田神保町 本やの会	(3)
◎市井人・斎藤月峯に学ぶ会	(4)
◎岩本町1丁目街づくりネットワーク	(4)
◎神田アキナイ会	(4)
◎さぼてん	(5)
◎ACIプロジェクト	(5)
◎NPOコミュニティデザイン協議会	(5)
◎ちよだ絵本づくりネット	(6)
◎雷一門	(6)
◎千代田区民音楽協会	(6)
◎文化発掘隊	(7)
◎まちづくり神田寄席実行委員会準備会	(7)
◎人が愉しむ道研究会	(7)
◎若き日の歌・校歌の旅人	(8)
◎ふれ愛かふえ	(8)
◎NPOサロンオペラ・トナカイ	(8)
◎REN-LAB. (レンラボ)	(9)
【質疑応答・審査表】	(9)
【総評・審査委員講評】	(10・11)
【第5回助成団体の活動発表・賛助会員一覧】	(12)

笑顔広がる学校や遊び場づくりに参画

子どもと一緒にデザインしよう会【3回目、助成金50万円】



今年の活動内容は、①環境デザインワークショップとして毎月第1、3土曜日に富士見小学校での「学校探検、学校づくり」「遊び場、遊具づくり」を引き続き行う。同小学校の建て替え計画に参画することが決まった。また、「遊

び場、遊具づくり」では、企業に提案して実現していきたい。その他にも子どもとかかわるものを企業とコラボレーションしてデザインし、作ってきたい。

②祭りイベントについては区内の全児童館で祭りのコンテストを開催する。祭りのアイデアを子どもたちと企画し、地域の祭りに提案して、参加していく。

③次に、これまでの活動のノウハウやスキルをまとめ、「キット本」を作成し、他の場所でも活用できるようにしたい。それを配り、持続するまちづくりのきっかけになることを考えている。

大学のサークル活動に入ってくる新

しい仲間とリーダーの育成を目指し、様々なボランティア体験を通して子どもとのかかわり方を学んでいきたい。

また、「親と子のまち歩き」なども今後もやっていくつもりだ。それらの成果を展示しながら、地域の人や他区の人たちとも交流していく予定である。

Q：富士見小の建て替えに参画する話はどれくらい確定しているのか？

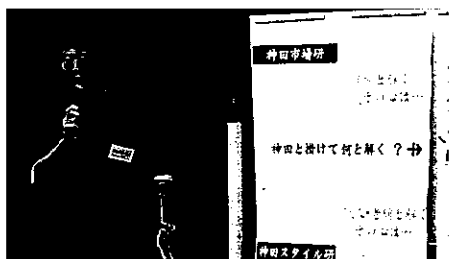
A：教頭先生からのお話で、教育委員会へは現在、具体的な詰めをし、これまでの活動から企画を提案するところだ。

Q：今回でサポート卒業となるが、来年以降の活動予定や資金計画は？

A：大学のサークルとしてやっているの、3年間持続して活動すると、大学から助成金が出る。やはり今後は企業とも一緒にやっていきたいと思う。

紳士服製作の地域分業体制を入口に

神田市場研究会【3回目、助成金14万円】



第1回目、2回目と助成をいただき、3年間お休みし、今回で3回目の申請となる。一昨年助成を受けた「神田スタイル研究会」と合流し、最後の年を飾る活動を一体となっていきたい。

活動の趣旨は神田の魅力をどう解

くかで、「市場」を観点に2年間活動した。「神田スタイル研究会」では職人さんや老舗、神田の遺伝子のようなものをテーマにした。共通している思いは、まちづくりを考える時に、今の神田の中からヒントを見つけていかなければということ。

今年の活動は、柳原通り沿道地区のまちづくりのビジョンを作成して提言する。それは報告書のスタイルをイメージしているわけではない。プロジェクトの動きの起点となるヒントをつかみたい。具体的には、たとえば、まず会員は須田町2丁目でスーツを仕立てる

ことを原則とする（無論自費で）。

かつて服地問屋街として栄えたこの地区では、分業で紳士服製作が地場産業として現在も行われている。地域分業体制で紳士服製作が地場産業として現在も行われている。それをひとつの入口としてまちづくりを考えていくべきだと思い、地元の仕立て屋さんと交流し、そこを起点に活動を展開していく。

Q：神田ウルルン記で外国人などを紳士服製作の場に連れて行ってはどうか？

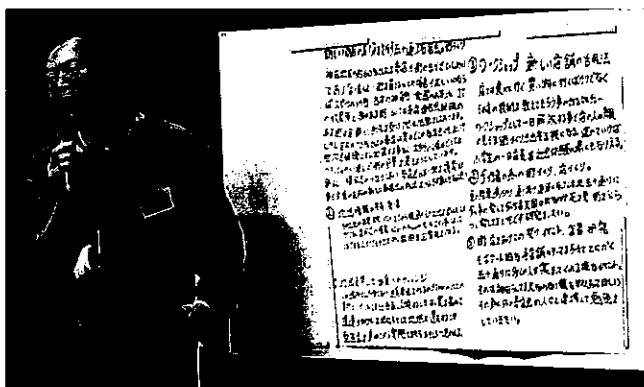
A：そういうプランも検討したい。

Q：これからの活動として、仮にでも具体的に手をつけることはあるのか？

A：地元のネットワークができたので、そこから動きとして何をするのかつかみ、スタートしていきたい。

職人を先生に一日ワークショップ

五十通り名店会【2回目、助成金33万円】



千代田区の商店の70～80%は、商店会にも属さない中小の店である。そういう小

さな店の新しい商店会組織ができないか。それを2年目の目標にする。

①地域情報誌の発信。地域の情報を回覧板的にもっと狭い範囲で発信できないか。五十通りだけの瓦版的なタウン誌を作り、そこから発展させていきたい。

②地域通貨の実験。この地域には生鮮3品を売る商店はない。地域通貨が加盟店の中で新しい貨幣として小さな商店街に何をも

たらずのか、可能性を探りたい。恐らく3年目には、これが活動の中心になると考えている。

③店としての新しいワークショップ、店舗の活用方法の提言。店の職人さんが一日ワークショップとして技を伝授する。そば屋、寿司屋、鰻屋などの一日体験を、特に子どもたちにさせてみる。店もアピールでき、地域の特性も紹介できる。

④歩行者天国の企画。車の違法駐車と通り抜けだけに使われている五十通りに、人のための通りを取り戻す。

以上のようなイベントを開きながら、この通りで活動をしていきたい。

Q：昨年のパンフの反響は？

A：勝手にこんな物作ってという方と、掲載費が無料なら入れれば良かったとか、喜んでくれた方など様々だった。

Q：研究でなく実際に行う活動は何か？

A：タウン誌と地域通貨はやりたい。

ITで住民と企業、諸団体と連携深め子どもを守る

千代田区こども110番連絡会【2回目、助成金37万円】

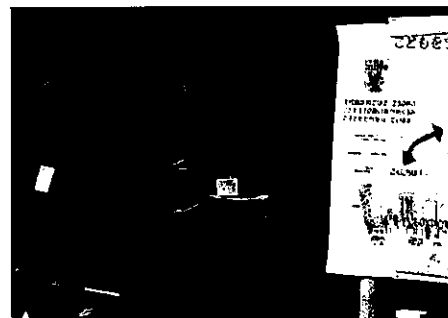
この会は区立小学校のPTAで構成され、平成13年の設立。子ども110番連絡の家を組織し、子どもの安全を守る活動をしてきた。迅速かつ多様な方法で情報を伝えるべくITを使うことを考えた。一方、ITの利便性が向上するにつれ、子どもたちが犯罪に巻き込まれる危険性も増えている。ITの功罪、活用方法を理解し、有効に使う必要がある。

昨年は、各校の連絡会担当でプロジェクト会議を立ち上げ、相互に連携できる環境づくりをした。情報伝達のコアとなる連絡会HPも完成。さらに各校でITへの関心を高め、独自に運営するため、まちづくりサポートの

他の団体、企業、区の協力を得てIT講習会を開いた。

今年は、まずPTAのIT環境整備を引き続き支援する。継続的な運営ができるように初級者やインストラクター養成のIT講習会や、父母や学校関係者の理解と協力を得るため、ITの功罪や活用についてのシンポジウムを開催する。

行政、学校、警察署の諸機関と連携し根幹のハードを整備する。1400軒の110番連絡の家に協力いただいているが、ITを通じて、さらに密接な関係を持つ。住民、企業、諸団体とも連携を深めて、私立小学校にも参加



を呼びかけたい。

Q：私立校への具体的な働きかけは？

A：区内の私立小学校、外国人学校へ、O BやPTAの家族の知り合いなどをお願いして声をかける。

Q：企業とはどう連携をとるのか？

A：110番の家のステッカーは家だけでなくビルもと考え、企業（ヤマト運輸、読売新聞販売店など）にも貼っていただいている。

自転車を活用できるまちづくりを提案

東京を自転車で走る会【2回目、助成金40万円】

3年前、有志でスタートし、23区内から都下まで自転車で走り、観て回っている。危険な場所や理解しがたい道路環境にも出合った。悪い所は改善へと働きかけたいと考えている。

区内は皇居など緑が多く、休日は車も少なく道路も走りやすい。東京駅を中心に都内全域の自転車の活用を考えることは意義深いと思う。

昨年はサイクリングマップを作るためにモデルコースを検証し、駐輪場のチェックをした。イベントとして10月に「江戸ポタリング」という自転車で3コースに別れて走り、散歩す



る催しをした。

今年度は、自転車を活用しやすいまちづくり、走りやすかつ安全な道づくりを提案し

たい。

「江戸ポタリング」を継続して交流を広め、意見を集め、アイデアを出し合う。具体例として、神田の警察通りをモデルロードにして、たとえば車線の一部を時間限定の自転車レーンにしたり、皇居一周のコースを実現できればと考えている。

Q：予算にあるアシスタント人件費は、どう遣われるのか？

A：アンケート調査やテープ起こしなどの費用として取ってある。

Q：外国人のための英語版マップがあるが、韓国語、中国語などをお願いしたい。ホテルや駅に駐輪できる場所の交渉も考えてほしい。

A：ポタリング参加者の要望で英語版を作ったが、韓国語、中国語などもぜひ作りたいです。駐輪場の交渉もやります。

変化の激しい神保町のマップ制作

神田神保町 本やの会【2回目、助成金22万円】

神保町に働く私たちが、日々生活している者の視点でこの街の魅力を来訪者や住民に知らせたいと思い、路地裏マップを3号まで作った。

その後、資金的なことなどで中断していたが、去年このサポートに応募して再開しようと思き出し、まだ完成していない。

久しぶりに神保町を歩いてみると、非常に変わっていて、以前作ったマップはほとんど使えない状況だった。店も道も変わり、住居も増えていた。しかしメンバーはやる気が出て、なんとか今回もやり遂げたいと思っている。このマップの製作にかかわることで会

員の交流が図れたり、住民の方とコミュニケーションがとれればうれしい。

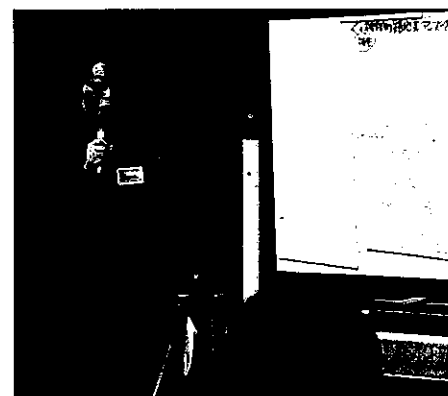
また、クラフトアートで、失われた建物を再現する試みにも取り組みたい。これはペーパークラフトを作っている出版社に協力いただくことになり、とりあえず、東洋キネマなどを作ることを目標にしたい。

Q：今回の活動はマップとクラフトアートということになるのか？

A：マップにクラフトアートを付録的に付けることになる。

Q：印刷費15万円の予算で大丈夫か？

A：マップをたくさん刷りたかったのでク



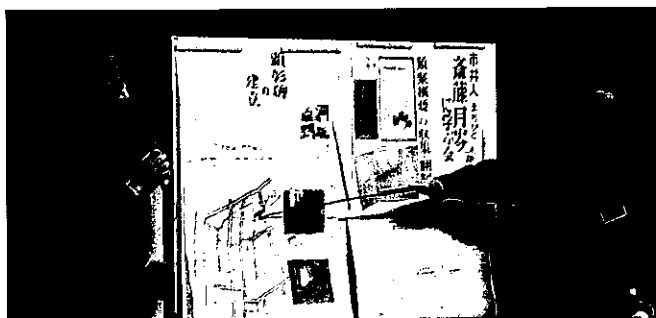
ラフトの方は紙代など試作品を作ってみて予算内でやるつもりだ。

Q：たしかに街が変わるから、電子データにして情報を入力して変えることのできる形にしては？

A：HPを作ってはというアドバイスも受けたが、今後考えてみる。

齋藤月峯の偉業を顕彰しまちづくりに生かす

市井人・齋藤月峯に学ぶ会【2回目、助成金50万円】



今年はず、齋藤月峯生誕200年にあたるので、月峯の顕彰碑を生誕地に建立したい。

ひ竣工させたい。

昨年12月に江戸東京博物館から51冊の『類

また引き続き彼の残した古文書『類聚撰要』の翻刻作業を行う。

碑建立については、行程表を作り、3月6日の月峯命日にその決意を墓前に表明する。5月頃から募金活動を始め、成果発表会頃にはぜ

聚撰要』の写本が新たに発見された。これを併せて拝見しながら、翻刻の精度を高めることができる。

月峯を地域に紹介するために、講演会や小学生向けの冊子なども作る。

Q：募金方法は考えているのか？ たとえば、建立地で街頭募金とか。

A：そこまでは考えていないが、ある程度目算の立つ方をお願いするつもりだ。

Q：募金自体が月峯を知らせる方法の一つだと思うので工夫してはどうか。内輪だけでやらないほうがいいと思う。

A：HPやPR誌の作成なども引き続き行っていくので募金協力も訴えられるかと思う。あくまでも市民の力で顕彰碑を建てたい。

江戸・明治の歴史を再認識し地域の連帯に

岩本町1丁目街づくりネットワーク【2回目、助成金36万円】

昨年度は新住民と地元の企業、前からの住民との共生を目指して活動を始めた。「ワンルームマンションガイドライン」「生活環境条例」を町会と連動して制定。地蔵橋東児童公園の再整備などを行った。

本年は、さらに地元のアイデンティティを喚起する活動を進めていきたい。

岩本町1丁目は中央区との境に位置している。いわば千代田区の外れにある地域だが、振り返ると歴史と伝統が再認識された。そこで「江戸・明治シンクロプレート」を作成し、その地の謂われ等を各ビルの入口に貼っていただく。

地蔵橋東児童公園では区のアダプト制度を導入し美化運動を続ける。付近のマンションのベランダに花鉢を置いたり、植樹祭などを行う予定である。

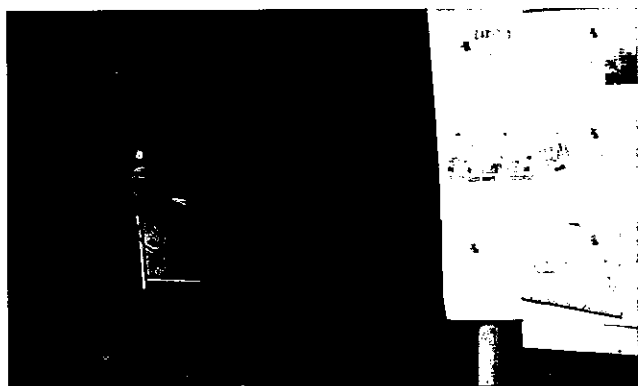
Q：「シンクロプレート」とは何か？

A：掲示板ではなく、まちの人が自分のビルが歴史的にどういう場所にあるかが分かるプレートを作成してビルに貼る。江戸、明治の古地図と対

比した図や近隣の歴史トピックなども盛り込んだもの。

Q：広がってきた活動の全体をどのようにつなごうと考えているのか？

A：まちの連帯感やアイデンティティをもつために、まちの歴史を振り返った。それによってこのまちの自信を取り戻したい。



道の歴史、使われ方を知り「まち再生」を展望

神田アキナイ会【2回目、助成金8万円】

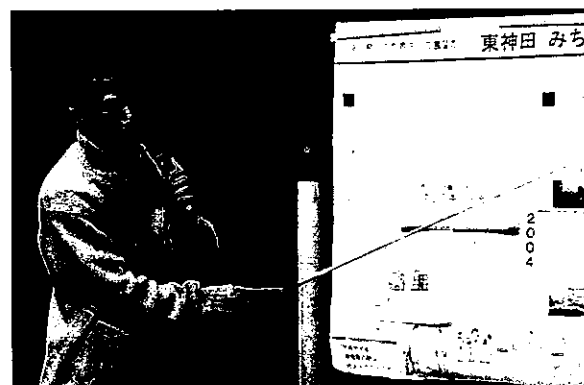
去年は東神田のビルの空き室を歩いて調べ、建物としてどこが空いているかを図に記した。今年は、道路がどう使われているかを調べる。土地再生という時も敷地の中にどんな建物があってどう使われているかの話で、空き部屋をどうするかというイベントなども既にある。

そこで、意外と盲点になっている道の使い方を考えたいと思う。そこからまち再生へという方向で活動する。具体的には、まず道路の歴史を調べる。次に、昔は道がどのように使われていたかを、地元の方に実際に聞きに行く。古い写真も見せていただくことを考えている。

第3に、道のいまはどうかを調べる。場所

を幾つか決めて、週に1、2度通って地域の人に話を聞く。これがメインの調査になると思う。

最終的に、このまちの道が現在どう使わ



れて、これからどうなるといいのか、というモデルを創るヒントを得ることを目指す。スローガンとしては、道で地元の人と交流を持ちながら、アウトドアの作業をしていこうということである。

Q：調査や研究、提言だけでは、まちづくりににはならない。人との関係をどうつくるかだと思う。交流といっても、ヒヤリングや道でことばを交わすだけでは生まれない。道で

何をするのか？ 具体的にどう実現するのかを伺いたい。

A：調査の結果によってデモンストレーションの形が決まってくると思う。

Q：実際に何をしたいのかが見えない。

A：調査のなかで、地元の人にもかつての道を思い出してもらいながら、何をやりたいか共に考えていきたい。

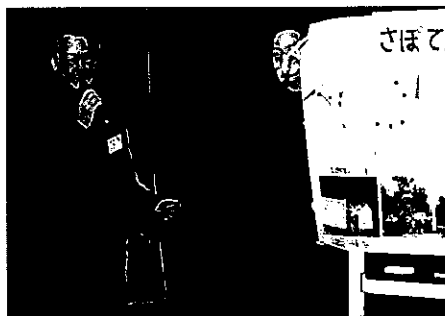
まちづくり活動の現場を見てマップ作成

さぽてん【2回目、助成金25万円】

去年は、助成を受けている団体の活動現場を見て歩き、話を聞いた。2回で60人くらいの参加があって、合計6キロを歩いた。チラシで告知をし、記録として冊子を作った。終了後に交流会を開催。人と人とのつながりをどう作るか、難しいと実感した。

今年は他の団体と共同で、アイデアの段階から歩くことを企画していきたい。中身として、ウォーキング+αで、何をするか。ルートを選ぶときにも、共にやることで何か新しい切り口でできるかもしれない。サポート活動を広めることにもなる。

もう一つは、サポ・マップの制作。これまで



にもいろいろなマップが生まれたが、それらの制作過程の情報を通じて交流を図る。地図のイメージはこれからだが、目的としては、活動を紹介することにもなるので、まず試作

を作り、公社へも提案したいと思っている。

Q：去年の冊子と、近くサポート事業をまとめた本も出るそうなので、それらとの違いは何か？ 何が新しいのか？

A：出版される本は初代審査員の4人の先生方をはじめ、筆者がいて総括的に書いているが、これは活動メンバーが発言したことばをリライトした生の声である。活動の写真も多く入り、内容が違う。こちらは記録として残すことが主で、多くのみなさんに配りたいというものだ。

Q：地元の町会など一般の人へアピールする考えは？

A：チラシという形ではこれまでもしている。少しだが一般の方もみえる。できた地図を配ることで、サポート事業全体の宣伝にもなると思う。

飯田橋で参加型イベントを開いて交流

ACIプロジェクト【2回目、助成金21万円】

法政大学の学生で、人と人との温かい繋がりが目標に活動している。

昨年は、大学のある飯田橋地域を中心に、まちづくりサポート事業に応募して1年目の活動をした。まちの調査で得た情報をお店のクーポン、地図情報誌「ダバチズ」やHPで発信する。靖国神社での千両祭りにフリーマーケットを出す。「値切りの交流」を通じて、多くの人とのやり取りで飯田橋というまちを少しずつ理解した。

2年目の今年は、昨年の活動を継続しつつ、独自のイベントを計画する。まちの調査や他グループとの交流で知る情報で「ダバチズ」

制作。HP更新など継続した活動のために、知る、発信、行動、を計画の柱としていく。

今後の調査で飯田橋の地域特性を活かした参加型イベントを実施したい。一定期間、飯田橋の町を文化祭会場とする「飯田橋文化祭」を考え、多くの人々が参加するものにする。店舗や様々な施設を発表の場として、写真や絵の展示、音楽のライブなどを企画している。

そこで発表したい人を、住民、学生を問わず募集する。多くの人々が楽しみ年齢や職業を越えて人々が交流できる場として、このまちを様々な空間として利用できればと考え



ている。

Q：イベントの計画でかなり予算が多いのはなぜか？

A：単発的でなく継続性をもたせるために予算が必要と考えた。バンドをやるにも練習などの準備期間や場所の確保が必要になる。その費用を考慮した。

Q：助成を受けなくてもやりますか？

A：はい(会場から声援)

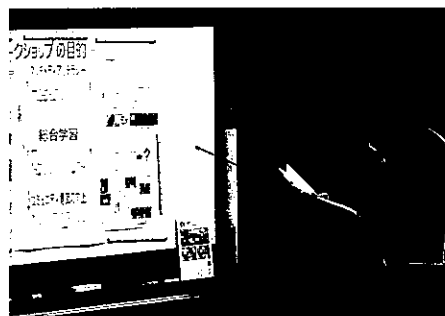
コミュニティ意識高めるサウンドプロジェクト

NPOコミュニティデザイン協議会【2回目】

企画書の内容を、プレゼンで若干変更したい。申請直後にスタッフで、去年の反省を踏まえて話し合った。サウンドコミュニティプロジェクトのプログラム自体に改善点があること。予算的な無理もあること。そこで、私たちがマネージメントしている他の団体のワークショップを使わせてもらい取り組みたい。

それは完全にパッケージ化され、比較的安価にできるので、他の美術館や他の団体からも助成を受ける目途がたっている。

しかし、目標は共通していて、1つはマルチメディア・リテラシー。コンピューターの使い方や読み書き能力を付ける。ワークショップ



のなかで情報収集や編集作業をする。

もう一つは総合学習。学校に出張してワークショップをやりたい。コミュニティ意識の向上をテーマにしている。

「スモールフィッシュをつくろう」というワークショップがあり、もともとCD-ROMのソフトウェアだが、一種の作曲ソフトのようなもの。なかのオブジェクトを自分たちで書いたり、写真を撮ったものに置き換えて、音楽の演奏ができるというもの。あとで見たい。

Q：予算はどうなるのか？

A：もっと安くできる。他の団体からも助成がもらえるので。

Q：去年は音を中心に子どもたちとまちの音を拾いながらまちを知り、次に総合学習へと発展させ、「スモールフィッシュ」というプログラムをするのか？

A：どちらも総合学習で目標は共通する。この方がスタッフも集まりやすい。

Q：今年は何をし、予算はいくらか？

A：可能性として、学校と協議して決めたい。予算は35万円をお願いしたい。

心込めた手づくり絵本で家族の和と輪を

ちよだ絵本づくりネット【1回目、助成金26万円】

家庭はコミュニティの基本。その家庭の和と輪をつくるには、手づくり絵本がよい。

手づくり絵本はお話も絵も製本も自分で、世界に1冊しかないもの。だれかのために心をこめて作る絵本。だから、それを広めたい。実は千代田区で昨年手づくり絵本展を開いた。

今年も千代田で絵本展を開きたいのでお話コンサートを開催し、幼児から子どもを対象に行った。今度は中学生とその親も対象に開きたい。それで、助成をいただきたく応募した。

メンバーの音楽家の音楽語りや、児童文

学者の岩崎京子さんの素語りを交えた手づくり絵本のワークショップも計画している。春休みと夏休みには「おやかかんたん絵本講座」も開く予定である。

Q：経費はソプラノの名古屋メンバーの交通費が大きい、東京の歌手では？

A：彼女はピアノなどのメンバーも自分の友人を自費で連れてくるので安くできる。せめて交通費は払いたい。知らない東京の方を頼めばかえって高額になる。

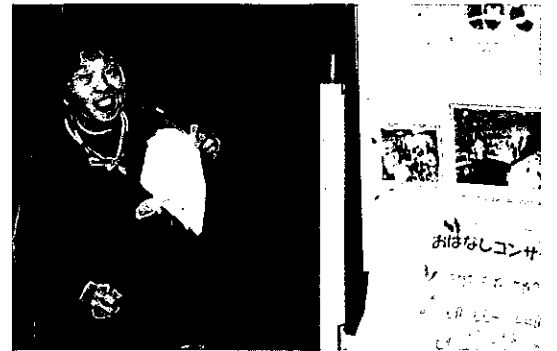
Q：去年の活動と、今回サポート

を受けて地域づくり活動としてやる違いは？

A：この助成を受けてやれば、千代田区にもっと広められるはず。

Q：このサポートは3年間であるが、その後はどう考えているか？

A：地元の「絵本工房ちよだ」を3年間で育てたい。その後、独立してできるようにしたいと思う。



手品や伝統芸でまち再発見して子を育てよう

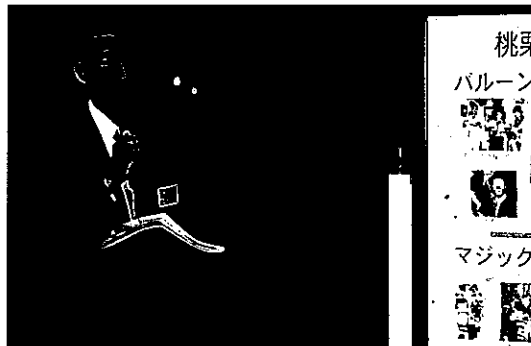
雷一門【1回目】

私どもは今年、パルーン教室、マジック教室、楽器を楽しむ会、伝統芸を楽しむ会の4つの集いを開催したい。異なる地域にある児童館などを利用し、地元のみならず広く千代田区在住の方々に広報して展開する。それにより、住み慣れたり、通い慣れたりしたまちだけでなく、区内のいろいろな場所やまちへ共に足を運んで、小さなことでも新しい発見があればと願っている。

4つの集いを体験しながら、会話を楽しむことも目的の一つ。親子、友人との会話の楽しさを再認識していただければと考えている。会を重ねることにより、区民の方々が楽しみ

にしてくれる行事になるように努力を続けたい。

現在、雷一門にはパフォーマーが63組お



り、協力体制を整えている。今後のまちづくりのお手伝いができると確信して、千代田区の担い手である子どもたちの成長を期待し、活動していく。

Q：まちづくりサポート助成を受けて、新たに展開する活動は何か？

A：芸を見せさせて楽しんでもらうだけでなく、まちづくりの現場で活動をしたいと考えた。

意識が違ふし、披露する場も広げたい。

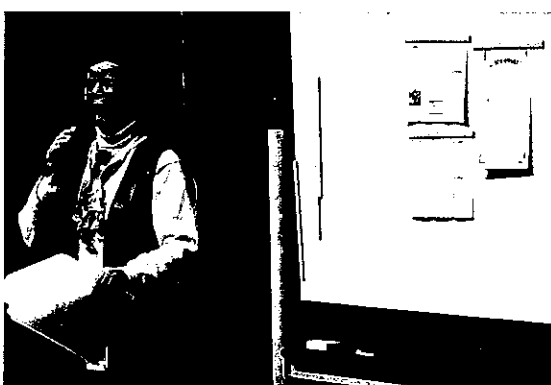
Q：予算の内訳は講師料が多いか？ また3年後の資金予定はどうなるのか？

A：いろいろ込みで、1回のイベントに10万円と考えている。自分の持ち出し資金と、今後はボランティアでも10%の手数料をいただき、それらをストックして、以後の活動資金にあてるつもりだ。

響け！ひろがれ！音楽のまち“ちよだ”

千代田区民音楽協会【1回目、助成金20万円】

私どもは、昭和56年に母校明治大学オーケストラのメンバーを中心に設立した会。子



どもたちに音楽の楽しさを伝えることも目標の一つだった。子どもたちともバイオリンなどで共に演奏したりもしてきたが、公会堂などで客席を埋めるのは困難だった。

このまちづくりサポート事業に参加されるみなさんに感銘を受け、自分たちも応募したいと思った。今回は、歌を通して麹町地区と神田地区が一つになり、幼稚園や小学校にも出かけて行って演奏したり、音楽によるまちづくりのお手伝いできればと思う。

また高齢者施設や心身障害者の施設にでも音楽を通して交流したいと考えている。

Q：子どもたちには、基本的にどのような歌を中心にやるのか？

A：童謡、唱歌、遊び歌など。昔の子どもたちが口ずさんだような歌をやりたい。

Q：高齢者施設の訪問も考えているようだが、その場合はどんな歌なのか？

A：昔なつかしい歌やリズム感のある歌など、元気を取り戻すようなプログラムで慰問演奏をする。

Q：今までの活動と、ここへ応募して新しく展開したい活動との違いは何か、分かりやすく説明してほしい。

A：これまでは会場を借りて、みなさんにホールに来ていただき、共に音楽を楽しんだ。今回は、私たちが出かけていって、学校や児童館などで演奏することを主に考えている。

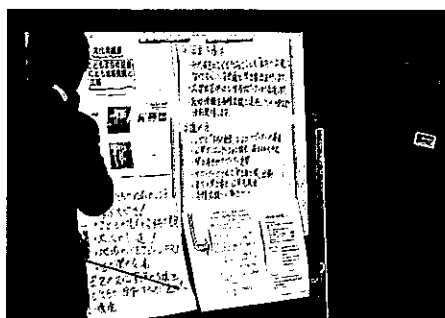
子ども記者の取材で地域文化に愛着の目を

文化発掘隊【1回目、助成金30万円】

私たちは、失われてしまった文化などの掘り起こしを地域との連携で、子どもや大学生たちと共に行ってきた。

池袋には、かつて画家たちが多く住んでいたモンパルナスがあり、馬込文士村や田端文士村などもあった。そこと連携して地域の掘り起こしと顕彰などもしている。美術学校の学生さんと子どもたちとで地域文化への取り組みをしている。

子どもたちが地域を知ることの大切さを感じた。自分たちが住んでいるまちにどう愛着を持ち、理解していくのか。それを実際に地域の活動でつながりを持ちながら、子ども



たちが学んでいく、その大切さを知った。

しかし、まちづくり活動のなかでは、子どもの視点で見ることがあまりにも欠けているように思う。実際に子どもとおとなが話をする

ことにより、おとな自身が自分たちの活動を振り返る。世代間の交流も大事なことでと痛感した。

子どもたちは「まちの記者」として聞き書きを行い、大学生たちがサポーターとなり、共に取材に加わる。それを子どもたち自身がHPなどで情報発信していく。各種の広報に対しても情報提供していくことを考えている。

子ども記者の募集や公開でオリエンテーションを行いたい。前審査員の作家森まゆみさんを講師に予定している。もちろん子どもたちにも発表してもらう。

Q：実際に行う場合は学校や教育委員会などを通すのか？

A：そういう場合もあるし、「子どもと一緒にデザインしよう会」などとも一緒にやっていく話をしている。

古典落語などによる「笑い」の賑わい復活めざして

まちづくり神田寄席実行委員会準備会【1回目、助成金10万円】



笑って元気なまちづくりを目指し、神田寄席の実行委員会を準備した。笑いという観

点から神田に賑わいを復活させたいと思った。

これで助成いただければ、3月4日に雛祭り興行として古典落語(円楽一門会真打ち)の会を開く。「さぼてん」の第1回ウォークショップで神田SUIに行き、あの空間で寄席を開きたいと考えた。

1年目はサポート事業に関連の人たちを集めて寄席を設けたい。終わればまちづくり談義で情報交換をし、コミュニティサ

ロンの機能をつけたいと思う。

いずれは場所も演目のバラエティも規模を拡大していきたいと考えている。

Q：サポートは一つのステップなので、その後の将来像をどう描いているのか？

A：神田寄席のNPO法人をつくり、まちづくりコンサルタントをやりたい。

また、寄席を通じてまちづくりという事例を千代田から全国に発信する。

Q：落語家とはどういう関係か？

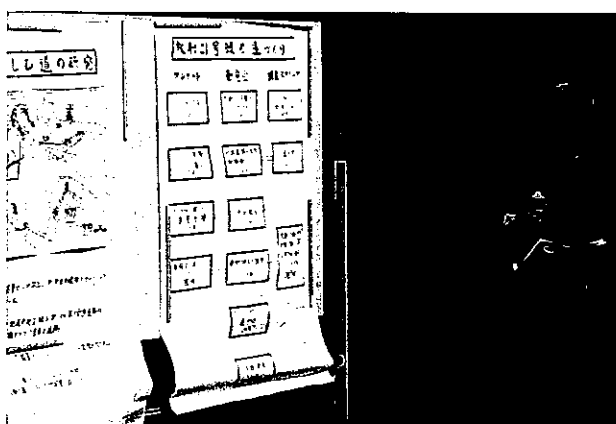
A：三遊亭楽松師匠(円楽一門会真打ち)と桑名の「本州横断ウルトラマラソン」で出会った。楽松さんは介護福祉士2級の資格も持ち、風呂屋でお年寄りのデイ・ケアなどをしている。思いっきりまちづくりの人だ。

分断されたコミュニティを道づくりで取り戻す

人が愉しめる道研究会【1回目、助成金28万円】

放射27号線の整備により街の様子が一変した。いちばんの問題は、オフィスビルやマンションの増加で従来のコミュニティが分断され、人との関係が希薄になってしまったこと。応募したのは、その分断されたコミュニティを、道づくりを通して取り戻し、子どもからお年寄りまでの多様な世代に魅力あるまちづくりを目指したい。

まちづくり活動は時が経つにつれて価値や質を高めていくものであると考える。都市計画道路放射27号線マスタープランの番町地域の将来像があるが、できるだけそれに即した道づくりを目指し、住民と勉強会を開いて意見交換しながら活動していく。まず、アンケートを実施、沿道に住んでいる方の意見を聞くことから始めて4回の勉強会を予定。



その合間に沿道の地形も調べ、できればその模型を創ることも予定している。

この沿道は、すでに70%のセットバックを完了。道路拡幅の事業実現は決まっていな

いが、交通機能を優先するより、人が愉しむ、広場の機能をもった道路が優先されるべきだ。植栽することで緑で結ぶ重要な道にもなると考えている。

Q：良い発想だが、多くの人が議論を重ねていく方がよいと思う。どうやって参加を呼びかけていくのか？

A：それが一番の問題。まずアンケートをお願いして興味を持つ方を増やし、会員が増えることも目指していく。

Q：3年間で活動を完成させるのか？

A：とても重要な縁をつなぐ道だと思っている。3年

間、ぜひがんばりたい。

Q：現段階で区の当局、区議会などとは、どういう関係を持っているのか？

A：まだない。すべてこれからの活動。

時代と学校の個性を反映する校歌を後世へ

若き日の歌・校歌の旅人【1回目、助成金17万円】

私たちは「校歌集」をまとめる活動を通して、まちづくりに役立てたい。千代田区には長い歴史を誇る区立学校が多くある。区内の人々は、その校歌を母校の誇りとして文



化を築いてきた。校歌を知ることは区の文化や歴史を学ぶことになる。校歌には学校の個性が表れており、それは千代田区の個性につながる。時代も表す。

たとえば、「練成中学校校歌」は戦争で焼け野原になった秋葉原から復興していこうという思いが込められている。また「錦華小学校」校歌は、3番あった歌詞が2番になっている。なぜかを調べたい。

「校歌集」を地域に学ぶ人と人との架け橋にして、発行した後は、千代田区の地域研究を学校と連携して進めていく。地域の人のお話を聞き、地域の特徴を調べて、まとめ

る総合学習をしていきたいと思っている。

Q：現在無くなっている小学校がいくつかあるが、そこまで調べてやるのか？また同窓会との連携が必要かと思うが？

A：何校かの同窓会と連絡を取り、資料をいただいている。戦前に消えた学校のものも見つけられる限り集めている。神田小学校などは歌詞を見つけたが、楽譜がないので探している。校歌をテープに録音して聴けるようにもしたい。

Q：校歌集は直接手で配るのか？

A：遠くの先生などへは郵送する。

Q：港区で作った時の課題はあるか？

A：完成した校歌集を配って終わりになり、一人でやったので精一杯だった。今度は仲間と、その後も地域の研究や交流に活かして広げたいと思った。

受講生の潜在能力引き出してまちづくりに

ふれ愛かふえ【1回目】

2000年に発足したコミュニケーション能力向上、グループワークなどを学習している産業カウンセラーの会。応募の動機と目的は、実際に行動する機会を求め、まちづくりに活かす人間関係を基にしたコミュニケーションを提供すること。

グループ内で話し、自分自身が気づいていることや信頼関係でアイデアをたくさん出せるように働きかけをしていく。埋もれた内なる能力を引き出し、人材活性化が図れるので、まちづくり、地域づくりに貢献できと思う。

活動は月1回、午前中は子育て中の方、午

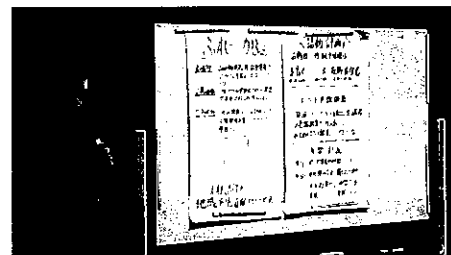
後はシニア、夜は在勤、在学の方を対象に学習会を開く予定。会の後にアンケート調査を行い、受講者のニーズや意識調査をする。2年目にはニーズに合わせた学習会を開く。

Q：秋葉原の和泉橋会館で行っているそうだが、サポート事業の拠点はどこに置くのか。また、まちづくりに活かすというのは、応募グループではないのか？

A：私たちは、そのお手伝いで、受講生の方がまちづくりをする。

Q：具体的に、どう活かすか、何をするかは未知数なのか？

A：まだ、ニーズが分からないので、それ



を伺ってからがよいと思う。

Q：コミュニケーション能力を高めた人たちが核となり、まちづくりを広めるというのはよいが、これまで、和泉橋の受講者が活動を起こしているのか？

A：和泉橋会館で会員の勉強会は月2回行っているが、年に2回は公開講座という形で横浜、築地で募集し、市民団体レベルや市民を対象に1日ワークを開いている。その受講者が気づいて何かを始める。そのきっかけづくりをしている。

オペレッタの文化を通してちよだの魅力拡げる

NPOサロンオペラ・トナカイ【1回目】

千代田区は文化都市千代田として誇ってきた。納税総額が全国でトップ。NPO法人もダントツに多い。ビジネスの町としても抜きん出ている。経済が文化を支えているのであり、さらに文化、芸術も大切にしたいものだ。

公共サービスはNPOなどの活動団体が市民からの免税寄付で行うのが世界の潮流になっている。日本には免税制度がないので、NPOの活動が制限されている。

オペラサロン・トナカイは、NHKのテレビなどで千代田区のビジネス街から珍しくオペラ文化を発信していると紹介されている。しかし区内ではあまり認知されていないので、



ぜひ、オペラ入門のカルチャー（解説）と初心者にも分かりやすいオペレッタ「天国と地獄」を7月に無料で上演する。

オペラは歌舞伎とともに、生の音声で演じ

られる世界でたった2つしかない伝統舞台芸術で、400年の歴史をもっている。千代田の区民と共に後世に伝えていく努力が必要ではないか。

Q：すでにNPOとして活動しているようだが、これまではどういう助成を受けているのか？その活動資金は？

A：全事業費の3分の1以上を一般市民の寄付で運営することになっている。

Q：オペラは文化振興の側面はあるが、まちづくりサポートとしては、地域の活動にどうつなげるのか？

A：区民にオペラに親しんでもらうことで、文化都市千代田の魅力を拡げる輪をつくっていききたい。トナカイの専有ホールでの7月公演以降も、区民を上演にご優待する。

学生ネットワークが神田に活力を取り戻す

REN-LAB. (レンラボ)【1回目、助成金33万円】



私たちは、神田の職人さんの元に学生が一日体験入門する、というワークショップを企画した。メンバーは東京デザイナーズブロック・セントラルイーストというイベントに

参加して知り合った。イベント後も神田に根ざして活動できるフィールドをつくりたいと会を作った。

神田に生きる職人さんたちと出会い、共にワークショップができるように依頼し、取材してきた。九代続く神田の和菓子職人さんの親子の姿を見て、神田の魅力を実感。もっと若い人たちが神田に来るように、もっと活気のある町にしたいと、ワークショップを企画した。神田を研究対象にしようとは考えない。学生が町の人に触れ合い、溶け込んで自由に行き来する町にと、地元の人たちと活動している。

Q：ワークショップは何を見いだすためのものか？学生のためではないのか。

A：神田の職人さんの技を知ること。共に体験して、もの造りの文化を知る。学生のためでもあるが、神田のためとも言える。メンバーには神田に住みたいと考えている人もいる。

Q：職人さんから体得したものを、地域にどうやって返還するのか？

A：たとえば、毎年、実際にワークショップで職人と学生が創ったものを、来年のイベント期間中に展示発表する。

Q：学生組織はすぐメンバーが減少したりするが、どうか？

A：学校も分野も異なる学生の集まりなので、お互いに刺激しあうことになる。継続のために話し合える場を創る。

質疑応答

神田市場研究会

Q：山崎 沿道再生の絵を伺いたい。看板建築を残すのか？登録文化財への運動とか、提言だけでなく、地域を明るくする活動の話も聞きたい。

A：要は神田の地場産業の職人さんたちと、どうマッチングしていくか。看板建築は残したい。現実問題として地権者もあり、軽々には言えない。地場産業の地域分業体制を新しい仕組みで活性化したい。

神田神保町 本やの会

Q：山崎 作った地図を使って住民と活動してほしい。

A：活動を広げることは、個人的には考えてはいる。とにかく地図を配ることで働きかけていきたい。少しずつ、町の方とコミュニケーションがとれてきた。

Q：鎌倉 町が変貌していく中で集めた情報を出す工夫もほしい。

A：地図の4号を作りたかったのは、町が変わり、最初の地図の状態と全く違うので、自分たちも欲しかった。5号では最近神保町に出店された方に理由などを伺ってまとめた。

文化発掘隊

Q：北沢 子どもたちが集めた情報を地域の人に伝えるアイデアは？

A：学校間をつなげる新聞や子どもたち自身によるHPで伝えたい。

まちづくり神田寄席実行委員会準備会

Q：北沢 目的が分からない。神田の寄席の文化の再興が、まちづくりグループの交流なのか？

A：長期的な目標は寄席の文化の再興。今回の目標はまちづくりグループの交流。

神田アキナイ会

Q：鎌倉 道路を開放して地域に根ざしたものをやるのでは道路の持つ移動機能、輸送機能を殺すことになる。

Q：田畑 この地域は週5日しか活動していない。土日の道路の活用視点に置いているのか？また、地域との連携は？

A：道路の移動機能と広場的な機能との両立は難しいが、道路にも交通量や幅でスケールの違いがある。それに応じた利用を考えたい。

Q：山本 道路の緑については、どのように考えているか、特に環境面は？

A：今回は東神田が昔どうだったかということから始めたい。

大上段に環境問題として今回は捉えていない。

ACIプロジェクト

Q：山崎 みなさんが卒業されても商店街の方は協力下さるのか？

A：この地域は歴史を感じさせるものがあり、新しいものや古いものが共存していると感じた。飯田橋商店街振興組合とは何度か会合を持ち、意見交換はしている。自分たちの活動を認めてくれた店を「ダバチズ」に広告を載せた。

Q：北沢 去年の企画よりステップアップはしている。交流が目的だそうだが、具体像がほしい。

A：イベントのバンドなど、私たち学生が準備して、参加者は地域住民、通勤者、学生が枠をこえて、趣味をツールとして交流する。そのコーディネーターにな

りたい。

五十通り名店会

Q：鎌倉 商店街は「模型のデパート」だという発想はおもしろい。その良さを既存市街地の小さな店舗の中で、品揃いの問題、リサイクルやコストなど、どう工夫するかが大切だ。そうでないと地域貨幣を作ることで終わってしまうと思う。

A：隣の町会や連合会と協議するのに半年以上かかり、18店舗募るのがやっと。この地域は老舗が揃っているのに、そのよさや個性を表現できない。戦前の親爺さん達と相談しながら情報発信をしていく。

岩本町1丁目街づくりネットワーク

Q：渡辺 前は新住民と地域との交流を挙げていたが、それをつなげる活動が弱くなったように感じた。イベントを新住民にどう呼びかけるか、具体的に伺いたい。

A：交流活動は、弱まってはいない。昨日も生活環境条例によるパトロールを我々の呼びかけで町会で行った。参加者の半分以上が企業の方だった。新住民にはマンション業者と連携がとれているので呼びかけている。

REN-LAB. (レンラボ)

Q：鎌倉 学生がかつてあったものに触れるのはいいが、その先に何があるのか？これからどうするのかがないと寂しい。

A：目標はワークショップと地域のイベントに参加すること。継続性については、学校や分野の違う学生のネットワークを拡げたい。

Q：北沢 地域との交流だけでなく、なぜ交流したいのか、自分たちなりの構想を持たないでためた。

第6回千代田まちづくりサポート審査表

グループ名	活動企画内容をサポートし、今回のサポート助成が必要だと考える	活動企画内容についてもう少し話を聞き、今回のサポート助成が必要か判断したい	社会的に意義ある活動だが、サポートの助成趣旨になじみにくいと考える	今回の助成対象として推薦する	申請額(万円)	助成額(万円)
1 子どもと一緒にデザインしよう会	★★★★★★			●●●●●●●●	50	50
2 神田市場研究会	★★	◆◆◆◆	▲	●●●●●●	15	14
3 五十通り名店会	★★★★	◆◆◆◆		●●●●●●●●	40	33
4 千代田区こども110番連絡会	★★★★★	◆◆◆◆		●●●●●●●●	50	37
5 東京を自転車でする会	★★★★★★	◆◆◆◆		●●●●●●●●●●	50	40
6 神田神保町 本やの会	★★	◆◆◆◆	▲	●●●●●●●●	28	22
7 市井人・斎藤月琴に学ぶ会	★★★★★★★			●●●●●●●●●●	50	50
8 岩本町一丁目街づくりネットワーク	★★★★	◆◆◆◆		●●●●●●●●	50	36
9 神田アキナイ会		◆◆◆◆	▲▲▲▲	●●	20	8
10 さぼてん	★★★★★	◆◆◆◆		●●●●●●●●●●	30	25
11 ACIプロジェクト	★★	◆◆◆◆	▲▲	●●●●●●●●	40	21
12 コミュニティデザイン協議会	★	◆◆◆◆	▲▲▲▲	●●●●●●●●	50	—
13 ちよだ絵本づくりネット	★★★★	◆◆◆◆	▲▲▲▲	●●●●●●●●	50	26
14 雷一門		◆◆◆◆	▲▲▲▲▲▲▲▲	●	50	—
15 千代田区民音楽協会	★★	◆◆◆◆	▲▲▲▲	●●●●●●●●	33	20
16 文化発掘隊	★★	◆◆◆◆◆◆	▲	●●●●●●●●●●	45	30
17 まちづくり神田寄席実行委員会準備会	★★	◆◆◆◆◆◆	▲	●●●●●●●●	12	10
18 人が愉しめる道研究会	★★★★★★★			●●●●●●●●●●	28.7	28
19 若き日の歌・校歌の旅人	★★★★★	◆◆◆◆	▲	●●●●●●●●	20	17
20 ふれ愛かふえ		◆◆◆◆	▲▲▲▲▲▲▲▲	●●●●●●●●	50	—
21 NPOサロンオペラ・トナカイ		◆◆◆◆	▲▲▲▲▲	●	50	—
22 REN-LAB. (レンラボ)	★★★★★	◆◆◆◆◆◆		●●●●●●●●●●	50	33



全体の印象として、参加して交流するテクニカルなところに走り過ぎない方がいいのではないか、という気がしました。

もう一つ、このサポートのいいところは、全然違うグループが集まること。住んでいる人も、外からの学生も、勤め人もいます。この種々多様なパワーがおもしろいわけです。もちろん地域の方との交流も今後、深めてもらいたいのですが、グループ間の交流も大切にしてほしい。特に1回目、初めての方は2回目、3回目、OBのグループと、まさに交流して、いろいろな情報を仕入れてやっていただきたいのです。

こういうまちづくりも地域の主体性が大切で、市民が主体になって進めていくという時代に入ってきています。国も最近、地域再生という本部をつくり、提案型で地域からアイデアを求めるということを始めました。東京都は都市再生でやっているの、現在は除外されているようですが。

いずれ東京でも、地域主体の提案型まちづくりの対象になると思いますので、そうなれば企画を募集します。国のいまの制度には載らないけれど、やるべきだというものを、ぜひみなさんの企画で提案していただきたいと思います。

今回、初めて申請したグループの中で、音楽や文化とい

う切り口からまちづくりにアプローチしようという企画がありました。これはいままでの5回の公開審査会を通して、少ない領域だったような気がします。

この文化を軸にしたまちづくりというのは、これからすごく重要になる分野だと思います。日本ではあまりそうした発想はないのですが、最近、大阪市立大学の佐々木先生が翻訳した『創造都市』(CREATIVE CITY)という本が出ています。チャールズ・ランドリイというまちづくりプランナーが書いたもので、EUの都市を取り上げています。

これまでは、重化学工業、情報、バイオなどの産業がまちを引っ張ってきた。でもこれからはそういう時代ではない。文化がまちを引っ張っていく。文化を中心にまちづくりをして、成功している事例を取り上げている。必ずしも文化が産業と関係ないのではなく、文化を中心に産業が展開して、新しいスタイルの産業が生まれてくる。要約するとそういう本です。

私はおそらく日本でもそういう流れになるだろうと思っています。ですから文化を中心とした提案が多くなるというのは、その地域に住んでいる人も、訪れる人も、ニーズがあるので、提案が多くなるのだと思います。ところが、それをまちづくりに結び付けていくことが日本ではまだ経験がないのです。

だから今度応募して助成を受ける方は、ぜひ、そういう意識を持って自分たちの活動を組み立てていただきたいと思います。

審査員講評 (敬称略)

饗庭 伸 (NPOまちづくり情報センターかながわ(アリスセンター)理事長)



市井人・斎藤月峯に学ぶ会

昨年に引き続きの助成決定となった。取り組んでいるテーマは面白すぎる。取り組んでいる皆さんはユニークな方ばかり、と聞いているので、よい成果があがることは当然のこと。満票での決定となった。あとはそれほど「意外な」成果をあげて皆をうならせるかが勝負だと思っています。どんな「顕彰碑」が出てくることやら。

岩本町一丁目街づくりネットワーク

やや「とんがった」活動の印象だった昨年度と異なり、今年度は地域の中に、じっくりと根を生やしていこう、という活動と理解しました。「地域」とはやっかいな難物と相場がきまっているので、正直なところ、「今年度の活動が、成功するかどうかわ分らない」とも思っています。私の懸念を吹き飛ばすような素晴らしい成果を期待しています。

若き日の歌・校歌の旅人

「校歌集」と「まちづくり」、どういった関係があるの?といった審査員の鋭い指摘を何とかぐり抜け、サポートの新しい助成団体となりました。「校歌集」をつくる、という活動の目的がはっきりと見えていただけに、あとはそれを達成するプロセスを、どれほど苦しみながら、組み立てていけるかにかかっていると思います。1年後の報告を期待しています。

NPOサロンオペラ・トナカイ

オペラを千代田の街の文化にしたい、という重厚な想いを、「まちづくりサポート」では受け止めきれず、残念ながら選外となりました。しかしながら、その「重厚さ」が、オペラの持つよいところでもあり、悪いところでもあると思います。オペラの歌声には、何も重厚な雰囲気の中で演じられなくとも、圧倒的な「歌の力」があると思います。その「歌の力」が「まち」の中に響き渡る日を期待しています。

鎌倉 賢司 (東京電力株式会社エネルギー営業部部長)



神田アキナイ会

「東神田 みちを再生、まちを再生」をテーマに、車中心の道路空間を人々に開放することによりまち再生を行う仕掛けを探り出そうとしている。真正面から「みち」のあり方を捉えようとする意気込みを感じるが、問題の多様性から具体的な行動と目標点が定まらない状況にある。但し、地元との関係作りも含めて、少しでもみち再生につながるアイデアが生まれる

ことを審査員の多くが期待している。

携て独自の活動を実施されており、その展開に期待する。

文化発掘隊

子ども「まちの記者」のネーミングが良い。子ども達が千代田区の生活や生活史を発掘(取材)し発信する方法で、子どもの育成とまちづくりに取り組む試みである。対象は、小学校高学年から中学生を考えている。集めた記事は、在住在勤の区民や学校へ発信する予定であり、独自の新聞発行のほか、「まち記者」による公開発表会を考えている。記事の広報の仕方が重要な鍵を握ると考えるので、丁寧に検討を進めてほしい。

REN-LAB. (レンラボ)

学校も専門も違う学生が、神田に受け継がれている「ものづくりの職人文化」を体験することにより、神田の魅力の発信者となり、多くの学生が集まって来るような流れの形成を狙っている。

しかし、企画段階では人の流れを形成するための具体的構想に乏しく、職人技を学ぶことが目的化し、学生のための学習会や同好会活動になる危険性もある。若い学生の持つ可能性に期待をして活動を見守りたい。

ちよだ絵本づくりネット

絵本の手づくりや絵本展、お話コンサートなどの活動を通じて「家族」「家庭」のあり方を考えようとしている。手づくり絵本は、物事を自分の目や心でしっかり「見る」、人の話をよく「聞く」姿勢を身に付け、家庭のコミュニケーション作りを支援する試みであり、重要性は十分認識できる。しかし、既に全国レベルの手づくり絵本サークルとの連



神田市場研究会

本来「まちおこし」とは、地域の持っている特性を生かしその地域の経済とコミュニティなどを活性化することであろう。自分たちのスーツを注文し、その過程で地場産業を体験し、その結果をどのようにまとめ上げ、「まちおこし」に提案するのが楽しみである。

神田神保町 本やの会

神保町という日本最大の本屋街の紹介を、そこで働く人達が独自の目線からマップを作り上げた。今後は、そのマップを定期的に作成

していくということなので、本屋だけでなく神保町の魅力をより一層アピールしてもらいたい。

ACIプロジェクト

地域の人のつながりや作成したマップを土台に学生の機動力を生かし更なるレベルアップを期待します。また、独自のイベントを企画するときも地域の人達と関わりながら継続的に進めていって欲しい。

千代田区民音楽協会

児童館や、区内の福祉施設に出向き音楽の良さ、楽しさを伝えると共に、見えない垣根のある麹町・神田両地区の交流を目指している。千代田区に住んでいる(いた)作詞家・作曲家の音楽もアピールしてもらえればと考えます。

山崎 範子(地域誌編集人)



子どもと一緒にデザインしよう会

3年目を迎え、ますますまちに根を張った活動が展開されていると感心しました。子どもと協働して「居場所(環境)をつくる」「共同体意識(楽しさを分かち合う仲間をつくる)」「自己形成(作業に関わる自分をつくる)」などの活動を通してまちづくりをする。似た試みは多いが、活動を持続し前進させることは容易でない。今回の活動内容に加わった「キット本の作成」はとても嬉しい。皆さんの体験が組織化され、ノウハウを多くの人が活用できることはもちろん、会の自立継続の手立てにもしてほしいです。

さぼてん

サポートに関わるグループや人の交流を目的とする「さぼてん」の

存在はいまや空気のようになくてはならない。でも、そこに助成することがいまひとつ腑に落ちない。さぼてんの意義は交流だけでなく、上っ面でない広報活動にもある。それなら資金は別枠(例えば審査員や申請グループ、公社の個人)からの浄財にできないか。今回の企画「さぼマップ」も各グループの独自性を思うと引っかかる。だが悩みながら助成を可とする。スゴイ!

雷一門

プロのパフォーマーの出前でバルーン、マジック、伝統芸能などのイベントを開き、まちを楽しみ、まちを発見するという企画は、子どもはもちろん大人にも楽しい。喜ぶ姿がまちづくりにつながることもあるだろう。しかし、最初からハレの日を設定する内容と、すでに各地でボランティア活動をしているプロを抱えたグループということで今回助成を見送った。個人的には、地道な活動が続ける中でハレの日協力して欲しいグループである。

山本 坦(千代田区コミュニティ振興公社評議員)



千代田区こども110番連絡会

「電縁」による千代田区内犯罪防止の環境づくり、公私立をつなげるネット連帯の強化、それには管理する大人も子供もIT社会の功のみならず罪(落とし穴)の認識も熟知してもらう管理基盤の整備についての強化も含めて挑戦。難しい課題を含むが、2年目の明確な活動によって市民によるこの運動が地域にその根を永続的に広げてゆくことを大に期待します。

地域との連帯も生まれてくるでしょう。警察・行政からのアドバイスも必要。2年目の更にレベルアップした活動に期待します。

人が愉しめる道研究会

都心は基盤整備が完全で、交通の利便性や走行性能が先んじている道が多く見られるが、これからの都市が求める道は人が融和でき、なんとなく居心地の良い道が求められる時代。「道の上の人々」を取り戻す時代に向けて、その必要性を強く望む地元住民の発案で立ち上げたグループと伺えた。この先は調査・自分たちの勉強会に終らず地域住民の意見のまとめ役としての活動にも期待します。

東京を自転車で走る会

国内外の人々が安全に自転車で千代田区の史跡・文化・景観・連なるみどりなどの魅力をペダルで実感し、満喫してほしいと願います。道路・交通事情・トイレ情報なども織り込んだマップには、地域の人々のワンポイントアドバイスをマップに落とし込み、その作業のなかで

ふれ愛かふえ

コミュニケーションにより仲間をつくり、交流により互いの意識を向上し、その段差を縮小、それをまちづくりに活かすという趣旨は貴重なものと思いますが、それをまちづくりに活かす具体案は?それをどのように地域に還元し、まちづくりにどのようにつなげて活動するのか見えてきません。具体的な提案を入れ込んだ計画で再応募を。

渡辺 滋(千代田区まちづくり推進部長)



五十通り名店会

五十通りの賑わいを復活させたいという提案者の熱気が印象的でした。2年目は当然ながら審査する側の目も厳しくなります。私の正直な気持ちとしては、前年度の成果は「拡がり」という面で不満でした。しかし提案者が名店を一軒一軒回った時の姿は、まちづくりの原点を感じさせ、将来「化けるかもしれない」という期待も持たせてくれました。地域通貨など困難なテーマもありますが、仲間づくりを大切にチャレンジして下さい。

するという試みは非常に興味深く、初年度の前回期待が高かった企画の一つでした。しかし今回はプレゼン方法の問題もあり、前年の成果及びそれを踏まえて今年何をやりたいかがわかりにくいとの評価でした。他の提案にも言えるのですが、「サポート」ということで学校などの協力を得やすくなる反面、目指すものがあいまいになってしまふ恐れを常に意識して欲しいと思います。

まちづくり神田寄席実行委員会準備会

「寄席により笑いの賑わい復活」というテーマとまちづくりとの関係がわかりにくいとの声もあったが、提案者の名調子?に乗せられて助成対象になりました。確かに神田に寄席はよく似合うと思いますし、行政にあまり頼らず、自分たちでまず出来ることをやり、それを大きくしていこうとする姿勢に共感した委員は私だけではないでしょう。こうした場を作るのもまちづくりでは大切であり、将来が楽しみな企画です。

コミュニティデザイン協議会

街中の「音」を仲立ちにして自分たちの街やコミュニティを再発見

高齢者向け買い物情報誌発行

東デ コラボレーションチーム【1回目】

高齢者のファッション・ショーを開いた経験を基に、高齢者を対象にしたファッション誌(16ページ)を100冊作り、美容室や高齢者センターなどに置いた。反響をみたい。

全面カラーで内容は高齢者が興味を持つ買い物情報なども取材して入れた。店舗は神田、千代田区の老舗だけにした。若い女性でも楽しめるような、軽い感じにした。

Q: 最後まで頑張ってくれてうれしい。サポーターズクラブもあるし、参加者は仲間なので、相談してやって下さい。

Q: 予算は大丈夫か?

A: 一応予算内で行ける。

※前回の活動成果発表時に、ファッション誌の作成が間に合わなかったため、今回の発表になりました。

秋葉原グッズ企画

秋葉屋ドットコム【2回目】

一般の人には使えないジャンク・パーツがあることが分かり、日常的に使うものに秋葉原のパーツを使うことで、新たに秋葉原グッズを作り直した。ボールペンの文字を書くライトとLEDランプのライトをかけて、デッドランプ付きボールペンを造った。

試作品の設計が細くなり、設計を頼んだり、金型で造ると予算的に無理なので電機振興会などにこの企画を譲渡して使っていたのではないかと考えている。

Q: 企画するだけでは意味がない。地域に新しいグッズをと定着させることが活動の中心のはず。次の段階で作戦を立てて下さい。

A: メンバーで検討していきます。

※前回の活動成果発表時に、全メンバーが所用で欠席のため、今回の発表になりました。

“サポート記録誌出版 近日発売!!”

走れ! まちづくりエンジン - 千代田発 市民活動が拓く「新しい公共」-

編著: 千代田まちづくりサポート会議+卯月 盛夫+北沢 猛+森 まゆみ+平岩 千代子 発行: (株)ぎょうせい

「千代田まちづくりサポート事業」が産声をあげてから6年。全国的にも注目されるまでに成長した「市民アイデアのユニークなまちづくり」の活動記録やサポート事業の誕生から発展の過程など、第4回までの「助成を受けたグループ」「サポーターズクラブ」「審査員」などが集まって、1冊の本にまとめました。

千代田を愛する市民が、まちづくりサポートを通じて、「人と人」「新しい公共」づくりを結ぶ縁人(えんじん)となり、まちづくりの原動力となるエンジンとなっていく。この1冊に、その知恵と秘密があります。問い合わせは、公社企画情報課まで(TEL.03-3262-0211)

(財)千代田区街づくり推進公社賛助会員一覧 (法人89社・個人69名 計158)

2004年3月1日現在

※この事業は下記の法人会員と個人会員の会費で運営されています

賛助会員名簿(法人)

〈保険関係〉

あいおい損害保険(株)
太陽生命保険(株)
日本興亜損害保険(株)

〈金融関係〉

興産信用金庫
太陽信用金庫神田支店
(株)東京都市銀行神田支店
(株)東京三菱銀行
(株)東日本銀行飯田橋支店
みずほ信託銀行(株)
(株)りそな銀行

〈建築・土木関係〉

大木建設(株)
(株)大林組東京本社
大林道路(株)関東支店
鹿島建設(株)東京支店
鹿島道路(株)
(株)久保工
(株)熊谷組首都圏支店
五洋建設(株)
清水建設(株)
(株)銭高組東京支社
大末建設(株)
大成建設(株)
高砂熱学工業(株)東京本店
(株)竹中工務店
中央建設(株)
鉄建建設(株)
東京舗装工業(株)
東洋建設(株)建築事業本部
常磐工業(株)
戸田建設(株)東京支店

飛島建設(株)関東土木支店
飛島道路(株)関東支店
長野建設(株)東京本社
(株)ナカノコーポレーション
日東みらい建設(株)
(株)間組東京支店
前田建設工業(株)
真柄建設(株)東京支店
三井建設(株)

〈不動産関係〉

協永不動産(株)
(株)共立エステート
住友不動産(株)
大日本企業(株)
三井不動産(株)
三菱地所(株)
森トラスト(株)
安田不動産(株)

〈建設設計〉

(株)アーバン・ウイング
(株)アーバン・トラフィックエンジニアリング
(株)アール・アイ・イー
(株)アイテック計画
(株)ADプロジェクト
エヌティティ都市開発(株)
(株)エルイー創造研究所
NPO都市住宅とまちづくり研究会
(株)関東設計
(株)楠山設計
太平工業(株)東京支店
(株)都市環境計画研究所
日本橋興業(株)
パシフィックコンサルタンツ(株)
(株)日立建設設計
(株)ポリテック・エイディティ

(株)松田平田設計
(株)増岡組東京支店
マト設計・コンサル(株)
(株)ラウム計画設計研究所

〈ビル管理〉

鹿島建物総合管理(株)
東京美化(株)
本州ビル・メインテナンス(株)

〈広告代理業〉

(株)イサミヤ

〈緑花・環境関係〉

日産緑化(株)

〈コンサルタント〉

(株)アフタヌーンソサエティ
(株)新都市企画
(株)都市デザインシステム
(株)エコプラン

〈駐車場管理〉

総合パーキング建設(株)東京支店

〈電機・通信関係〉

三洋電機(株)

〈その他〉

秋葉原商店街振興組合
秋葉原中央商店街振興組合
秋葉原西口商店街振興組合
新日本監査法人
神保町一丁目南部地区市街地再開発組合
東京高速道路(株)
(社)東京都建築士事務所協会
(株)東京読売サービス

フィールファイン(株)
(株)メガ
ヨシモトボール(株)

賛助会員名簿(個人)〔敬称略〕

青木 孝次
安孫子 政夫
泉澤 定雄
伊東 敏雄
犬伏 真
今堀 信明
扇谷 和栄
角地 登志子
加藤 武夫
木村 進一
小山 政士
佐々木 明美
佐藤 章子
須藤 昭雄
鈴木 勉
瀬川 昌輝
立山 光昭
寺沢 譲
東宮 哲哉
戸田 豊重
中尾 嘉男
二木 憲一
早川 平典
堀部 剛正
松谷 優子
森田 克弥
宮寺 孝臣
三輪 瑛子
山内 秀男
山崎 泰廣
脇屋 博幸
渡邊 和
他37名